

祝 辞

ジョン・ファイエンさん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、関係の皆さまにも、お祝い申し上げます。これまで宮崎国際大学に対し、多大なご協力とご理解を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

学校法人宮崎学園は、昭和 14 年、大坪資秀初代理事長によって創設されました。昭和、平成、令和へと三時代にわたり多様な変化進展を経て、83 年の歴史を刻んでいます。

本学は、平成 6 年、大坪久泰第二代理事長によって創設されました。グローバル社会で活躍する人材育成をめざし、英語によるリベラル・アーツ教育という、極めて先進的な教育に取り組みました。そして、この 9 月は宮崎国際大学大学院設置が文部科学省によって認可されるという新たな出発の年となりました。

本日卒業され、令和という新たな時代を担っていかれるジョンさんに「挑戦する」ということをお話します。本学は、皆さんが人として成長されることを願い二つの事を教育の中心においてきました。一つは、建学の精神「礼節・勤労」、もう一つはリベラル・アーツです。

建学の精神「礼節・勤労」でめざしてきたことは、人間としての成長です。「礼節」の精神では、礼節を重んじ、自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることをめざしてきました。さらに「勤労」の精神では、心身を労して全てのことに積極的に努力することをめざしてきました。礼節・勤労という人間的成長の基盤に立ち、物事を多面的にとらえながら、自らよく考え、世界を知り、自然を知り、そして人を深く学ぶ学問であるリベラル・アーツを学ばれたことと思います。

3 年目を迎えたコロナ禍の中で、困難な中にあっても自分に出来ることを模索され、挑戦する心を持ち続けながら今日という日を迎えられたのではないかと思います。

母国を離れ、見知らぬ国に来て、新たな発見や大変な事もあったと思いますが、それでも頑張りぬいたジョンさんの本学における挑戦は今後の宝になっていくことと思います。

グローバル化が益々進展し、複雑化する中で、今後、歩む道は、平坦な道ではないかもしれません。これが正解という、正しい答えのない問いの中で、自ら考え、自ら決め、行動しなければなりません。自らの目標に向け、挑戦し続け、今できる最善を尽くして誠実に生きていくと欲しいと願っています。

宮崎国際大学での学びを地球社会の発展に貢献されますことを期待し、素晴らしい人生を歩んでいかれることを心から願いまして理事長祝辞とします。

令和四年九月十五日

学校法人宮崎学園理事長 山下恵子